

平成20年度 七歳合同祝

来る11月14日(金)、町内各小学校を会場に町主催で各分館ごとに七歳合同祝が行われます。

七歳合同祝は、今年で52回目を迎える毎年恒例の、子どもたちの健やかな成長を地域のみなさんとお祝いする行事です。将来が楽しみな子どもたち。

健やかに育ってほしいものです。



19年度の合同祝(新橋小学校)

ふれあい

第125号

分館役員・館報編集委員 合同視察研修会

去る7月29日、分館役員と館報編集委員で、川越市にありま
す高階南公民館(平成19年度優良公民館)を視察研修に行きました。

高階地区は、川越市の南部に位置し人口五万二千人で川越市でも利用者数が一番多い公民館だそうです。施設の使用申し込み受付開始には80人位並び、人気時間帯は抽選となるそうです。

特色としては「地域子どもサポート事業」を行っています。目的は子供達の豊かな人間性や社会性など「生きる力」を地域ぐるみで育むためであり、高階地区にある5つの小学校対抗スポーツ大会、地区運動会への参加、中学、高校生も参加するふれあいコンサートを行っています。

また新たな企画として、防災キャンプ(体育館宿泊の被災体験)、ウォーキングラリー、子ども文化祭など多くの事業を行っています。

研修の中では、多くの質問も出て、有意義な時間でした。今回の研修を今後の各分館、公民館の活動に役立てていければ良いのではないかと思います。



分館から

新 橋

「いきいきライフ」と
「ウォーキング大会」



「いきいきライフ」と「ウォーキング大会」は野木及び近郊の地を基本に、歩くコースを決めて実施しています。実施日は毎月の最後の日曜日です。歩き方は早い人で1時間、ゆっくりな人で2時間と個人の体調と体力に合わせて無理なくできるようにしています。コースの選定は、できるだけ季節感が出るように心掛けています。今年は実施日に雨に降られ回数が半分になって、心待ちにしていた参加者を落胆

させてしまいました。

「ウォーキング大会」は10月最後の日曜日で計画中です。実施の案内と参加者の募集は回覧でお知らせしますので、是非多くの方の参加を希望します。分館活動は一部の人のためにあるのではなく、大勢の方の参加で発展していきます。皆様、参加してご意見を寄せてください。

南赤塚

第12回 ボウリング大会

7月13日、分館行事の中で最大とも言えるボウリング大会が古河市西牛谷「下総ゴールドレーン」にて開催されました。

学区内28自治会が9チームに分かれ、午前の部、選手百名・応援八十五名、午後の部、選手百二十五名・応援五十六名・役員十六名、計三百八十二名（小学生以上）の参加で行われました。館野公民館長の始球式で幕が開き熱戦が展開されました。

12年前、南赤塚小学校校庭を使用していた運動会を、ボウリング大会に変更してから大好評で、12回大会となりました。健闘の

結果、成績は次のとおりです。

（25名、2ゲームトータルピン）
優勝 丸林東下B 五九三五
準優勝 新橋 五九八七
第三位 南赤塚 五五二五
個人最高得点二百七ピン、最低得点十三ピン、平均百八ピンでした。



野 木

野木地区育成会旅行 大宮鉄道博物館

分館のバス旅行で、鉄道博物館へ行きました。駅弁を列車の中で食べ、旅行気分を味わったり、色々な列車の展示を見たりと、楽しく過ごせました。なかでも、模型鉄道ジオラマは大人も子供も楽しめる構成になっています。一度行ってみてはいかがでしょう。（保護者）

【おしらせ】

サークル、クラブ紹介してみませんか

公民館、町体育センター、町施設などで活動している団体の方でご希望がございましたら、館報編集委員会事務局までご連絡ください。

☎(57) 4188

※掲載につきましては、編集委員会でご決定させていただきます。



分館のバス旅行で鉄道博物館に行きました。古い汽車や電車がたくさん展示してありました。転車台に古いSLがあつて、転車台が回りながら、汽笛を鳴らししました。とっても大きな音でびっくりしました。今走っている電車よりSLの方が大きく感じました。また行きたいです。その時は運転のシミュレーションをやりたいです。（小五男子）

素顔

〜ご存知ですか〜

風が吹く



石塚 信一さん

大正12年野木生まれ、早稲田から三菱地所に入社して仕事一筋、設計を手掛けた池袋サンシャイン60の点灯式は今でも思い出です。地域と係り始めたのは、定年近くに自治会長を引き受けた頃からだった、その時「風が吹いた」のだとおっしゃる。

再就職の話を断って、父親の開いた野木幼稚園を継ぎ、幼児教育に携わる。野木神社氏子総代の時に古文書に触れ、歴史に興味関心が深まる。小山の教育委員会で見た血方神社のビデオがきっかけで、明治から途絶えていた、小学生女兒が舞う、野木神社の五行の舞い復活に奔走する。(2000年12月復活)風が一本の糸のように繋がる。

楽しみは仲間と行く歴史探訪旅行。今、調べている大六天(第

六天)と菟道稚郎子うじのわきいらつこの話になると言葉が熱を帯びる。

定年後始めた油絵は2年目に県展に入選、最近、朽ちかけた庭の木が可哀想で絵に書き残した、色々な所に目看向くのは人権擁護委員を務める石塚さんの優しさだと思った。町の老人会16クラブ、900人の連合会長、お互いの会の活動を知るために昨年、季刊紙「寿報」の編集発行を始める。

インタビュの終わる頃、電話で呼ばれてライオンズクラブの会計の用事で風のように出かけて行った。今どんな風が吹いているのか、今後どんな風が吹くのか楽しみにになった。

著書 野木神社物語

野木宮要談記(古文書資料)

おはやしが育む

人の輪

坂下御雛子保存会が、発足してから30年になります。

そもその御雛子保存会の発足目的は当時自治会の若者ほとんどが会社員であり、日頃は顔を合わせる事も挨拶する事もなく、都会化傾向にありました。それを見かねた諸先輩方が、地域の活性化とコミュニケーションを

図る手段として生まれたのが、御雛子の復活でした。コミュニケーションの向上と共に技術もメキメキ上達し、昭和60年には小山市で開催された関東郷土芸能御雛子コンクールで金賞を受賞しました。現在は、自治会の夏祭り、町のふるさと祭り、各種イベントへの参加が、活動の中心です。しかし近年会員の高齢化、後継者不足という過渡期を迎えています、何とか伝

統芸能

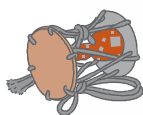


の保存

継承に努

めていきたく
と思っています。

五行の舞



9歳から10歳までの少女が舞う五行の舞は、太々神楽たいたいかぐら十二座の中の二座です。五行の舞は中央、東、西、南、北の神説や木、火、土、

金、水の陰陽五行説等の諸説があります。

神楽保存会の方達の指導の下、神楽奉納に向け、14、15名の少女達が交代で舞えるように練習を重ねていきます。4月第2日曜日や12月3日の御帰社祭(提灯もみ)には白の上衣に緋の袴で、天冠を付け、手には各々異なった五色の御幣と鈴を持って舞う姿を、二目見ようと大勢の人で賑わいます。



思川浄化センター

運動施設

思川浄水センターの敷地内にはあまり知られていませんが、テニスコートが2面とゲートボール場が1面あります。芝生と木立ちの緑が美しい穴場です。

【利用方法】

栃木県流域下水思川浄化センターに直接申し込む。

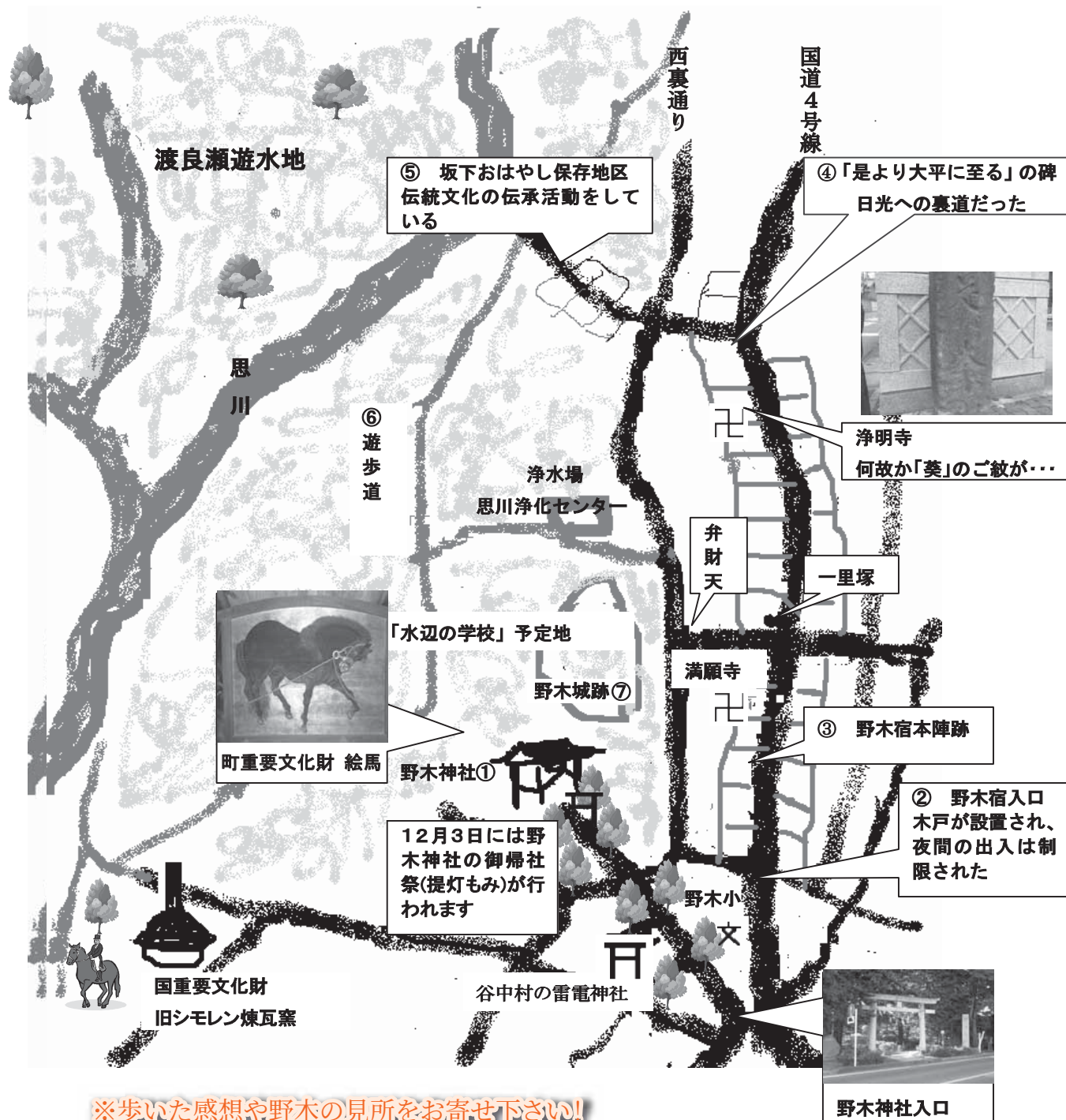
問合せ先 ☎ 5710555

思川浄水センター

特集 野木・まちある紀

その2
野木宿周辺散策

今回は野木神社を出発して、江戸時代に野木宿としてにぎわった街道(国道4号線)沿を北上し、『大平に至る』の道標を曲がり、坂下～思川沿いの遊歩道～思川浄化センター～野木城跡～野木神社に戻ります。(約1時間30分コース)
遊水地内の遊歩道は人通りがないので、2人以上でご散策ください!



※歩いた感想や野木の見所をお寄せ下さい!

野木町公民館(館報編集委員会事務局)

☎(57)4188